

衣浦港3号地廃棄物最終処分場処理工程図

安定型区画と管理型区画

廃棄物にはさまざまな物があり、ただ埋立処分すればいいというものではありません。

受入れる物によって性状が安定している物は安定型区画に、そうでない物は管理型区画に埋立て、適正に管理します。

また廃棄物の受入れにあたっては、厳しい基準を設けています。

産業廃棄物の種類

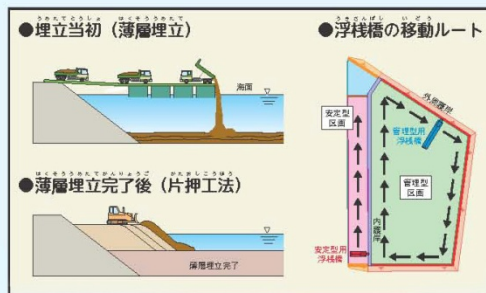


*一般廃棄物については、焼却場で処分後の灰や燃え残りなどです。

廃棄物の埋立方法

埋立区域の水深は8~14mと深いため、安全に作業ができるよう、また海底地盤の水のしみ込みを防ぐ機能を低下させないために、埋立当初は、海上の浮棧橋から廃棄物を投入します。

一定の水深まで浅くした後は、陸地から廃棄物を流し込むようにして埋立てていきます。



浸出液処理のしくみ

1 流入調整設備

埋立処分場から浸出液をポンプで取水し、大きなごみ、砂などを、スクリーンなどで取除きます。

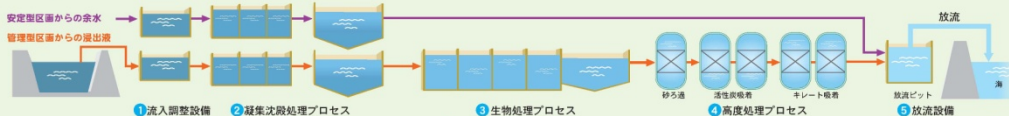
2 凝集沈殿処理プロセス

<安定型区画の余水>

浮遊物質などを取除きます。

<管理型区画の浸出液>

水中の微小な物質に付着して沈める働きがある薬剤で、カルシウム分や重金属類、有機物、浮遊物質などを水槽の底に沈めて取除きます。



3 生物処理プロセス

微生物の働きで、有機物や窒素などを取除き、その過程で生じた汚泥も水槽の底に沈めて取除きます。

4 高度処理プロセス

残留する微小な浮遊物質や重金属などの汚れを、砂ろ過したり、活性炭やキレート*などに吸着させて取除きます。

5 放流設備

安定型と管理型の処理水を中和させ、pH調整・消毒後に海へ流します。

*キレートは、ギリシャ語で「カニのハサミ」という意味をもち、有機化合物が金属を取り囲み、環状構造になった化合物のこと。キレート吸着とは、金属をカニハサミのようにはさみ込んで捕獲するものです。